



「わたしたち」の合唱コンクール

校長 渡部 智昭

今日から師走、12月に入ります。今年も残すところ1か月となりました。長かった2学期も一日一日と過ぎ、大きな事故もなく授業や行事に取り組むことができました。そして、日々の積み重ねの中で、生徒たちの活躍や成長をたくさん見る事ができました。

2学期の大きな行事といえば合唱コンクールです。11月8日(水) 昨年に続いて、さいたま市民会館おおみや Rai BoC hall (レイボックホール) での開催となりました。昨年から使われるようになった「レイボック」という言葉も次第に馴染んできました。(由来は、RaiはRailway(鉄道)から、BoはBonsai(盆栽)から、CはCartoon(漫画)から取った組合せだそうです。鉄道、盆栽、漫画の3つとも「大宮」のシンボルです。) 今回も実行委員会の生徒と先生方を中心に準備が進められ『天歌夢奏～歌の木を天まで伸ばせ～』というスローガンのもと、校歌、学年合唱、クラス合唱、全体合唱、有志合唱などすばらしい歌声がホールに響きました。

さいたま市では今、「さいたま国際芸術祭2023」が行われています。(10月7日より12月10日まで開催され、メイン会場は旧市民会館おおみやになっています。旧市民会館おおみやは、1970年に完成し、2022年3月に閉館となりました。今回、さいたま国際芸術祭2023のメイン会場として使用されます。) 合唱コンクールの会場のレイボックホールは、さいたま国際芸術祭の会場の一つになっていて、宮前中合唱コンクールも国際芸術祭とコラボして実施をしました。芸術祭のテーマは「わたしたち」です。すばらしい会場で、芸術祭ともコラボして「わたしたち」の合唱コンクールを行うことができ、大変うれしく思いました。合唱コンクールのスローガン「天歌夢奏」にも「わたしたち」の熱い思いが込められています。

1年生は初めての合唱コンクールになります。例年、緊張して声が出にくい傾向が見られますが、そのようなことは無くどのクラスもしっかりと声が出ていました。2年生は昨年の経験を活かし先輩として上手に歌うことができていました。3年生は堂々とした態度で、強弱や歌詞のひと言ひと言まで丁寧に表現されていて、どのクラスも甲乙つけがたいすばらしい合唱で、さすが3年生だなと思いました。(3年生最優秀賞の3年5組は、10日に行われた「さいたま市小・中合同音楽会」にも参加しました。) それぞれのクラス、学年が協力しあい合唱コンクールを創り上げました。「わたしたち」一人ひとりが、「天歌夢奏」を表現していたと思います。また、合唱コンクールの開催に当たりPTA会長様はじめ役員の皆様には早朝よりご協力いただきありがとうございます。たくさんの皆様の協力があって無事に開催することができました。心より御礼申し上げます。

3年生は、この合唱コンクールをもって大きな行事が終了し、これからは進路の実現に向けて動きます。24日には第3回の進路説明会を行いました。また同時に校長面接も行っています。5クラスのうち4クラス終わりましたが、どの生徒もしっかりした態度で臨み、質問に対して適切な受け答えができています。「志望理由」「入学後にがんばりたいこと」「中学校でがんばったこと」「自分の長所や短所」「将来の夢」など自分を見つめ、文言を考え表現することができていました。6人のグループを基本に、約15分間集団面接を行います。発言順を変えたり、少し聞き方を変えてみたりと変化を加えても対応することができていて頼もしい限りです。一人ひとりが希望の進路を実現できるように、3年生みんな受検を乗り越えてほしいと思います。